

# 第2回技術セミナー

## 建築セミナー ～地震動と免震技術・シックハウス問題を 中心に～

早稲田大学理工学総合研究センター産学連携室行事として、第2回技術セミナーを開催致します。

当セミナーは、本学の持つ技術シーズの発表やそれら事業化の例などの情報発信を通じて、新たな産学連携の可能性を模索する事を目的としています。

皆様のご参加をお待ちしております

### 開催概要

日 時 | 2005年7月22日(金) [セミナー] 14:00～17:00 (受付開始 13:30～)

[懇親会] 17:15～19:00

場 所 | 早稲田大学大久保キャンパス 62号館 1F 会議室

キャンパスマップはこちら <http://www.rise.waseda.ac.jp/liaison/map.html>

主 催 | 早稲田大学理工学総合研究センター

受 講 料 | 無料

懇親会費： 一般 3,000円

**RISE** 産学連携交流会会員 無料

### プログラム

13:30～14:00 受 付

14:00～14:05 開会挨拶 演 義昌(理工学総合研究センター所長・教授)

14:05～15:00

「最近の被害地震の特徴と地震工学の話題」

山田 眞(理工学総合研究センター 教授)

この数年、被害地震が頻発している。これらの地震動の特徴について見るとともに、地震動予測の現況を報告する。とくに、長周期地震動について過去の地震記録の再解析と、最近の観測事実との比較からその問題点を探る。

15:00 ~ 15:55

「次世代型住宅用免震構造の開発  
- 産学連携研究の事例報告 - 」  
曾田 五月也（理工学部建築学科 教授）

戸建住宅用の免震システムの普及が進まない。主にコスト高が原因である。2種類の汎用免震プラットフォームの開発により、利用者が目指す性能に応じたシステムを低コストで供給する事を目指した研究の発端・経緯・成果について紹介する。

15:55 ~ 16:05

——— 休憩 ———

16:05 ~ 17:00

「シックハウス問題と測定評価技術」  
田邊 新一（理工学部建築学科 教授）

室内の揮発性有機化合物汚染によるシックハウス問題が指摘されている。対策のためには建材、施工剤、生活用品から放散する汚染物質を低減化することが重要である。そのためには、放散量を正確に測定する技術が必要となる。本講演では、田辺研究室で行われているチャンバー法、SVOC 測定法などの最新技術の紹介を行う。

17:15 ~ 19:00

懇 親 会 （早稲田大学大久保キャンパス 55 号館 S 棟 2 階 「竹内記念ラウンジ」）

## 講師略歴

### 山田 眞（理工学総合研究センター 教授）

構造物への入力地震動に関する研究に従事。97 年より理工総研教授。

### 曾田 五月也（理工学部建築学科 教授）

早稲田大学卒。早稲田大学教授（工博）。建築構造学専攻。  
学内外において高減衰構造に関する各種研究プロジェクトを実施中。

### 田邊 新一（理工学部建築学科 教授）

早稲田大学理工学部建築学科教授。デンマーク工科大学客員教授、カリフォルニア大学研究員など、建築環境学が専門。

## 申込方法

Web ページよりお申込み下さい。 <http://www.rise.waseda.ac.jp/liaison/event/2005/0722/index2.html>

**申込締切： 7 月 15 日（金）**

\*参加申込多数の場合は、先着順とさせていただきます。

**お問合せ** 早稲田大学理工学総合研究センター産学連携室 〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1  
Tel:03-5286-3047 Fax:03-3200-9886 E-mail : rise-liaison@list.waseda.jp 担当：松尾・小暮

万一日時・場所等の変更が生じた場合は、申込者にはご連絡致します。